

2022年度事業報告書

(自 2022年 4月 1日 至 2023年 3月31日)

事業の概要

1. 奨学事業	111,420千円
(1) 奨学給付費	計 105,190千円
(国内大学)	
① 大学生に対し、月額50千円の奨学金を支給した。	
(53人 × 50千円 × 12ヶ月 = 31,800千円)	
(1人 × 50千円 × 5ヶ月 = 250千円)	卒業者 (2022年8月卒業)
(1人 × 50千円 × 6ヶ月 = 300千円)	中途休学者
(1人 × 50千円 × 6ヶ月 = 300千円)	中途復学者
② 大学院生に対し、月額60千円の奨学金を支給した。	
(45人 × 60千円 × 12ヶ月 = 32,400千円)	
(1人 × 60千円 × 6ヶ月 = 360千円)	中途休学者
③ 外国人留学生に対し、月額100千円の奨学金を支給した。	
(17人 × 100千円 × 12ヶ月 = 20,400千円)	
(1人 × 100千円 × 9ヶ月 = 900千円)	卒業者 (2022年12月卒業)
(海外大学)	
① 欧米圏の大学生に対し、月額70千円の奨学金を支給した。	
(9人 × 70千円 × 12ヶ月 = 7,560千円)	2021年採用者 2年目
(7人 × 70千円 × 12ヶ月 = 5,880千円)	2022年採用者 1年目
② アジア圏の大学生に対し、新たに月額30千円の奨学金を支給した。	
(6人 × 30千円 × 12ヶ月 = 2,160千円)	2021年採用者 2年目
(8人 × 30千円 × 12ヶ月 = 2,880千円)	2022年採用者 1年目
(2) 奨学生補導費	計 6,230千円
① 採用された奨学生を対象に、オンラインにて奨学金目録授与式・研修会を実施し、役員・評議員及び選考委員が出席して奨学生を激励した。	
本年度も海外 (アメリカ、オランダ、ベトナム、タイ) でも、対面式にて実施した。	
② 10月包装展示会と同時にオンライン研修会を行い、最新の包装に関する技術・情報を入手した。	
③ 次年度に就職活動を開始する学生を対象に、就職活動に関するセミナーを開催し、就職活動に関するアドバイスをを行い不安の払拭を図った。	
④ 3月に東日本、西日本のそれぞれの地域で、一部卒業生を含む奨学生と役員等の交流会を開催し、互いの研究や活動の報告やその他の情報交換会を行いました。	
2. 研究助成事業	45,300千円
(1) 研究助成費	計 45,300千円
① パッケージ分野における調査研究を行う研究者に対し、助成金の支給を行った。	
(13人)	計 45,000千円)
② パッケージ及びその関連分野の発展への貢献が高く期待できると認められる研究者1名に対し、選考委員の審査のうえ、フジシール財団賞を付与し、奨励した。	
	300千円
(2) 研究助成発表費	計 0千円
認定式及び研究成果の発表会については、新型コロナウイルスによる影響で、本年度もオンラインにて実施した。	
3. 事業運営費	20,839千円
事業費合計 177,560千円	